平成25年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年２月12日

上 場 会 社 名	株式会社プラコー	上場取引所	大
コ ー ド 番 号	6347	URL	http://www.placo.co.jp
代　　表　　者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名)	権田　和睦
問合せ先責任者	(役職名) 常務取締役	(氏名)	黒澤　秀男　(TEL) 048-798-0222
四半期報告書提出予定日	平成25年２月12日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：無
四半期決算説明会開催の有無　：無

(百万円未満切捨て)

１．平成25年３月期第３四半期の業績（平成24年４月１日～平成24年12月31日）

（１）経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第３四半期	1,791	19.2	△83	―	△93	―	△109	―
24年３月期第３四半期	1,502	△12.2	24	99.0	7	―	44	―

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第３四半期	△4.03	―
24年３月期第３四半期	1.64	―

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第３四半期	1,992	106	5.3
24年３月期	1,790	206	11.5

(参考) 自己資本　25年３月期第３四半期　106百万円　24年３月期　206百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年３月期	―	0.00	―		
25年３月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成25年３月期の業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,863	22.3	85	△12.9	71	△1.1	50	△53.6	1.85

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：有

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：有

④　修正再表示　　：無

（注）「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」第５条の４に該当するものであります。詳細は、添付資料３ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期３Ｑ	27,152,585株	24年３月期	27,152,585株
②　期末自己株式数	25年３月期３Ｑ	46,197株	24年３月期	45,540株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期３Ｑ	27,106,863株	24年３月期３Ｑ	27,107,442株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）財政状態に関する定性的情報 ……2
（３）業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……3
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 ……3
４．四半期財務諸表 ……4
（１）四半期貸借対照表 ……4
（２）四半期損益計算書 ……6
（３）継続企業の前提に関する注記 ……7
（４）セグメント情報等 ……7
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……7
（６）重要な後発事象 ……7
５．補足情報 ……8
（１）生産、受注及び販売の状況 ……8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第３四半期におけるわが国経済は、一部には緩やかな回復の兆しが見られ、さらに、政権交代に伴う景気浮揚策への期待を見越した円安・株高により、設備投資や個人消費マインドの改善を後押しする効果も徐々にではありますが見られ始めております。しかしながら、欧米の財政問題の長期化や、さらには、中国を中心とした新興国の成長鈍化の傾向などの懸念材料を抱えているため、国内景気の先行きについては依然として楽観できない状況にあります。

当社の関係するプラスチック機械業界においては、一部の高機能フィルム・多層ブロー製品など新分野商品の市場展開はあるものの、一般の製品は長期化する円高により景気が低迷しており、安価な輸入品が増加する傾向にあります。国内の設備投資意欲は低迷しており、自動車関連企業などが新興国への工場移転を増加する傾向にあります。海外市場においては、新興国の経済成長に伴って需要の増加は期待できるものの、価格競争が激しくなっています。

環境関連業界においては、大型破砕機の入れ替え需要はあるものの、全体としては低迷しており、復興需要に期待していますが、具体的な受注へ結びつくまでに時間が掛かっています。全体的には、国内外とも厳しい経営環境で推移しました。

このような状況下、営業面ではプラスチック機械事業においては、高生産・省エネを生かした多層インフレーション成形機や超大型ブロー成形機、さらに省エネハイブリッド型締め付ブロー成形機の受注を確保しました。また、リサイクル装置事業においては、再生機やメンテナンスを中心とした受注が増加しましたが、全体的には前年同四半期に比べると受注残高は減少しました。また、生産面では、海外生産の増加によるコスト低減を推進・生産効率の向上に努めました。利益に関しては、新型の大型多層ブロー成形機や、新型の高生産多層インフレーション成形機に掛けた開発費の増加や、さらに人件費などの固定費が増加した為、目標には至りませんでした。

以上の結果、当第３四半期累計期間においては、売上高では、新型の大型機が数台前期末から繰り越されたことや、後半期予定の納入検収が第４四半期会計期間になっていることから、１７億９千１百万円となり、前年同四半期と比べ２億８千８百万円増加（前年同四半期比19.2％増）いたしました。利益面につきましては、当第３四半期累計期間の売上高は増加したものの、当第３四半期会計期間の売上高が少ないため、前半期の損失を吸収できる利益を確保することができませんでした。この結果、営業損失８千３百万円（前年同四半期営業利益２千４百万円）、経常損失９千３百万円（前年同四半期は経常利益７千万円）となりました。また、有価証券の評価損を計上したことから、四半期純損失１億９百万円（前年同四半期は四半期純利益４千４百万円）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

流動資産は、前事業年度末に比べて22.2％増加し、1,291百万円となりました。これは、現金及び預金が295百万円、たな卸資産が85百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて4.1％減少し、701百万円となりました。これは、有形固定資産が減価償却などにより13百万円、無形固定資産がソフトウエアの償却により２百万円、生命保険の解約により役員保険が11百万円それぞれ減少したことなどによります。

繰延資産は、株式交付費償却が終了し0円となりました。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて11.3％増加し、1,992百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べて18.4％増加し、1,213百万円となりました。これは、短期借入金が86百万円、前受金が215百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が103百万円、未払消費税が３百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて20.4％増加し、672百万円となりました。これは、長期借入金が135百万円増加し、退職給付引当金が20百万円減少したことなどによります。

この結果、負債は前事業年度末に比べて19.1％増加し、1,886百万円となりました。

純資産は、前事業年度末に比べて48.4％減少し、106百万円となりました。これは、第３四半期純損失を109百万円計上したことなどによります。

（３）業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、現時点において、平成24年11月12日に公表いたしました業績予想に変更はありません。なお、今後の経営環境により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

原価差異の繰延処理

操業度等の変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産(その他)として繰延べております。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第３四半期累計期間の営業損失、経常損失及び税引前四半期純損失への影響は軽微であります。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	140,929	435,990
受取手形及び売掛金	474,380	477,814
製品	133,283	201,323
仕掛品	272,437	109,473
原材料及び貯蔵品	17,365	26,523
その他	22,650	41,593
貸倒引当金	△4,690	△1,577
流動資産合計	1,056,356	1,291,141
固定資産		
有形固定資産		
土地	508,000	508,000
その他（純額）	141,299	128,172
有形固定資産合計	649,299	636,172
無形固定資産	9,890	7,838
投資その他の資産		
その他	88,390	75,147
貸倒引当金	△16,157	△17,670
投資その他の資産合計	72,232	57,476
固定資産合計	731,422	701,487
繰延資産	2,367	―
資産合計	1,790,146	1,992,629
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	561,701	458,624
短期借入金	204,448	290,948
前受金	188,397	404,156
未払法人税等	8,438	5,599
引当金	10,304	11,198
その他	51,792	42,672
流動負債合計	1,025,082	1,213,199
固定負債		
長期借入金	426,795	562,262
退職給付引当金	53,990	33,132
繰延税金負債	77,554	77,554
その他	429	―
固定負債合計	558,768	672,948
負債合計	1,583,850	1,886,147

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期会計期間 （平成24年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,332,945	1,332,945
資本剰余金	131,387	131,387
利益剰余金	△1,385,010	△1,494,146
自己株式	△5,178	△5,196
株主資本合計	74,143	△35,009
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△9,497	△158
土地再評価差額金	141,649	141,649
評価・換算差額等合計	132,151	141,490
純資産合計	206,295	106,481
負債純資産合計	1,790,146	1,992,629

（２）四半期損益計算書
第３四半期累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	1,502,423	1,791,263
売上原価	1,113,510	1,494,026
売上総利益	388,913	297,237
販売費及び一般管理費	364,167	381,072
営業利益又は営業損失（△）	24,745	△83,835
営業外収益		
受取利息	1,674	1,117
物品売却益	705	623
保険解約返戻金	－	4,267
その他	3,633	6,099
営業外収益合計	6,013	12,106
営業外費用		
支払利息	15,693	15,695
手形売却損	4,198	2,290
その他	3,050	4,200
営業外費用合計	22,942	22,185
経常利益又は経常損失（△）	7,816	△93,914
特別利益		
退職給付引当金戻入額	47,304	－
特別利益合計	47,304	－
特別損失		
投資有価証券評価損	6,255	10,920
その他	135	－
特別損失合計	6,391	10,920
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	48,728	△104,834
法人税、住民税及び事業税	4,269	4,300
法人税等合計	4,269	4,300
四半期純利益又は四半期純損失（△）	44,459	△109,135

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日)

当社はプラスチック成形機事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

Ⅱ　当第３四半期累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日)

当社はプラスチック成形機事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

該当事項はありません。

５．補足情報

（１）生産、受注及び販売の状況

１ 生産実績

当第３四半期累計期間における生産実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	1,130,066	19.3
ブロー成形機事業	403,018	50.8
リサイクル装置事業	68,970	39.6
合　　計	1,602,055	26.7

(注) １　金額は、販売価格によっております。
　　２　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

２ 受注実績

当第３四半期累計期間における受注実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	1,102,281	△6.7	657,570	△12.8
ブロー成形機事業	497,926	△18.1	368,990	△7.9
リサイクル装置事業	134,613	35.4	92,043	93.8
合　　計	1,734,820	△8.2	1,118,603	△7.0

(注)　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

３ 販売実績

当第３四半期累計期間における販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	1,030,881	13.6
ブロー成形機事業	403,498	43.4
リサイクル装置事業	63,590	17.3
メンテナンス事業	293,292	13.1
合　　計	1,791,263	19.2

(注)　上記の金額には、消費税等は含まれておりません。